

南部町の「モノ書き」たち 郷土の宝発見！

昨年の春から、一年間の予定で始まった自分史講座も、いよいよ終盤を迎え、参加者のみなさんの作品も着々と仕上がってきています。

南部町立図書館では、前回の自分史講座に参加された方々の作品をはじめ、町内の方が書かれた自分史を所蔵しています。また、自分史に限らず、体験記や小説、短歌、俳句など、南部町出身の方々の作品を、貴重な郷土資料として所蔵しています。郷土の「モノ書き」のみなさんの作品をぜひご覧ください。

※ 手に入りにくい資料のため、館内閲覧をお願いするものがあります。ご了承ください。

4月1日から一か月間、1階入口近くのコーナーで、南部町出身のみなさんの作品を展示します。どうぞご覧ください。



■ 作品の一部をご紹介します



「自分史七十年の足跡」
南部町立図書館
自分史講座作品
中田 俊夫

前回の自分史講座に参加された方の作品。幼年期・少年期を中心とした思い出が、様々なエピソードとともに書かれています。巻末に短歌も収録されています。(館内閲覧資料)



「温かきころろ」
白石 康雄
(まりも出版)

戦中・戦後の厳しい時期を生きた作者が、自らの人生を、関わりあった人たちとの思い出を中心に綴った作品。文中に登場する「おぼの昔話」の別冊付！(館内閲覧資料)



「陸上三昧」
矢吹 奎
(創栄出版)

長年、全国陸上競技愛好会会長を務めた作者の陸上観戦記。写真も自ら撮影されており、その躍動感は見事です。図書館では「続・陸上三昧」も所蔵しています。



「デートは地球の裏側で」
小川 彩子&律昭
(春陽堂)

自称、ウサギ夫とカメ妻夫婦の共通点は、旅好きなこと!?結婚25年の記念に、別々に旅へ出て、カサブランカで落ち合う、というエピソードにはビックリです。

大活字本

を「ご存知ですか？」

町立図書館では、多数の大活字本を所蔵しています。一つ一つの文字が、通常よりかなり大きくなっており、通常版では読みにくい方にも、読みやすくなっています。どうぞご利用ください。

土佐は南国のせいがない。どんな悲惨なは作るのか、「よさこい」
「わしは、歌えん」
「では、竜馬おじさま

実際の文字の大きさです

